

2011年3月11日 東北地方太平洋沖地震 -4~5日後の仙台市内の様子-

3月15日(火)、3月16日(水)に、仙台市内の状況を自転車で見回った。

沿岸部の津波被害は深刻なものであったが、仙台市内中心部では特に大きな被害は確認されなかった。土木構造物の大きな被害としては、東北新幹線の橋脚の損傷、歩道橋の落橋等が見られた。

確認した箇所を下図の青ピンで示し、主な損傷、被害を写真で次ページ以降に示す。



図-1 確認箇所

1. 仙台駅周辺の状況

仙台駅は、震災後閉鎖されている。高速バスの乗車券売り場には、乗車券を求める行列ができていた。仙台駅周辺の被災状況としては、路面の沈下、建物外壁の損傷が発生している。



図-2 仙台駅周辺位置図



写真-1 東口連絡階段閉鎖



写真-2 高速バス乗車券売り場の行列



写真-3 路面の沈下



写真-4 東口地下道閉鎖



写真-5 外壁の損傷



写真-6 外壁の損傷

2. 若林区役所の状況

仙台市内で、最も津波の被害を受けた若林区の区役所には、支援物資が到着していた。庁舎内は、一時避難所として開放されている。



図-3 若林区役所位置図



写真-7 若林区役所庁舎



写真-8 衛星電話



写真-9 支援物資(簡易トイレ)



写真-10 支援物資(毛布)

3. 東北新幹線橋脚損傷

東北新幹線の橋脚では、仙台駅の北側および長町駅周辺で損傷が発生していた。また、新幹線の架線を支持するコンクリート製の支柱が折れる損傷も発生していた。既に、損傷を受けた箇所の補修工事が開始されている。



図-4 東北新幹線橋脚損傷位置図



写真-11 架線支柱基部の損傷
(仙台駅北側)



写真-12 二層ラーメン橋脚横梁の損傷
(仙台駅北側)



写真-13 架線支柱の折れ
(長町駅周辺)



写真-14 ラーメン橋脚の損傷
(長町駅周辺)



写真-15 ラーメン橋脚の損傷
(長町駅周辺)



写真-16 橋脚補強部での損傷
(長町駅周辺)

4. 仙台市営地下鉄上部構造の損傷

仙台市営地下鉄の運行見合わせ区間(台原駅～泉中央駅間)にある八乙女駅の上部構造の横桁に損傷があった。損傷は、横桁の他、橋座にも損傷が生じていることから、横桁に埋め込まれた落橋防止構造(アンカーバー)が機能した際に損傷したものと考えられる。下部構造には損傷が見られなかった。



図-4 八乙女駅上部工損傷位置図



写真-17 上部工横桁の損傷



写真-18 横桁の損傷



写真-18 橋座の損傷

5. 歩道橋の落橋

国道4号線仙台バイパス上に架橋された横断歩道橋の取付階段が落橋している。



図-5 歩道橋落橋位置図



写真-19 横断歩道橋取付階段部の落橋



写真-20 写真-19の拡大



写真-21 写真-19の拡大

6. 七北川河口部での津波被害状況

七北川河口では、津波により流された家屋、車、キリン工場から流出した大量の缶類が散乱している。高砂橋より先の河口部は立入禁止区域となっている。



図-6 七北川河口位置図



写真-22 津波により流出した家屋



写真-23 高砂橋交差点(立入禁止区域)



写真-24 流出した大量の缶類



写真-25 津波被害を受けた車輛群



写真-26 夢メッセ



写真-27 大破した車輛

7. その他の被害状況



写真-28 震災時に壊れた時計



写真-29 倒れた本棚



写真-30 動いた筆筒



写真-31 外壁の落下



写真-32 天井の落下



写真-33 ブロック塀の倒壊



写真-34 ショーウィンドウの割れ



写真-35 マンホールの隆起



写真-36 ボックスカルパート背面の沈下



写真-37 ガソリンを買い求める車列



写真-38 給水を求める行列



写真-39 ガス欠で放置された車輛

以上